

恵飛須議員（自民議連）

令和2年9月29日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）グローバル時代における教員の働き方とスキルアップについて

これからのグローバル時代に、教員にどのような資質が必要と考えるか、また、その資質向上に向けた課題と取組について、更なる働き方改革の見通しも含めて、教育長の所見を伺う。

（答）

グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、今後、社会構造や雇用環境は大きく変化することが予想されており、こうした中、本県におきましては、「学びの変革」の推進に取り組んでいるところでございます。

こうした取組を更に深化させていくために、教員には、授業において、児童生徒の考えを引き出し、主体的な学びを促すなど、いわゆるファシリテートする力、児童生徒の深い学びを促す本質的な問いを設定する力などの、資質能力が求められていると考えております。

このため、今年度は、校長に加え、学校の中核となる教員を対象として、本質的な問いを設定する力や評価の力を高め、児童生徒の深い学びを促すことができるよう研修を実施しているところでございます。

しかしながら、全ての教員が求められる資質能力を身に付けていく必要があります。今後、計画的・系統的に研修を実施し、全ての教員が研修を受講するとともに、この研修を活かした授業改善を推進してまいりたいと考えております。

また、教員が健康で児童生徒の深い学びを促す授業を展開していくためには、子供と向き合う時間の確保や長時間勤務の縮減は喫緊の課題と認識しており、学校における組織マネジメントの確立や教職員の働き方に対する意識の醸成なども積極的に取り組んでまいります。